

六ヶ所・核燃料サイクルセミナー

～原子力研究開発への期待と可能性～

日本原子力研究開発機構は、高速炉研究開発の一環として高速実験炉「常陽」の再稼働をはじめ、高レベル放射性廃棄物の減容化・有害度低減等、核燃料サイクル開発への期待に応えるべく、研究基盤の再構築に関する課題等に鋭意取り組んでいます。

本セミナーは、「原子力研究開発への期待と可能性」を副題とし、最新の技術開発及び広く応用が期待される基盤的研究開発等について報告するとともに、幅広い視点からの議論を踏まえ、今後の原子力研究開発への期待と可能性について意見交換することを目的としています。



(昨年の講演風景)

日時

平成30年7月25日(水) 13:00～17:30

場所

六ヶ所村文化交流プラザ「スワニー」 大会議室

基調講演 (13:30-14:10)

参加無料

「知っていますか？ 医療における放射線」



量子科学技術研究開発機構 理事

島田 義也 氏 (しまだ よしや)

プロフィール

1985年東京大学理学系研究科博士課程修了。博士（理学）。
 新技術開発事業団 水野バイオホロニクスプロジェクト、
 （都）老人総合研究所、ウイスコンシン大学、
 放射線医学総合研究所で、メダカの始原生殖細胞の放射線感受性、
 血管・免疫系の老化、放射線発がん研究に従事。
 日本放射線影響学会理事長、国際放射線研究連合副会長、
 日本癌学会評議員、CT検診学会理事など。

I 原子力先端技術の可能性（14:15-15:05）

座長：大島 宏之 原子力機構 高速炉サイクル研究開発センター長

■ 「がんの診断と治療に役立つ放射性同位体とその薬剤化」

量子科学技術研究開発機構 高崎量子応用研究所 プロジェクト「RI医療応用研究」リーダー

石岡 典子

■ 「新元素二ホニウム合成と発見 ～重元素核科学研究の世界～」

原子力機構 先端基礎研究センター 重元素核科学研究グループ 研究主幹

小浦 寛之

II 次世代サイクル技術の可能性（15:20-16:35）

座長：人見 啓太郎 東北大学大学院 量子エネルギー工学専攻 准教授

■ 「次世代核燃料サイクル技術 概要と今後の展望」

原子力機構 高速炉サイクル研究開発センター長

大島 宏之

■ 「高速実験炉「常陽」とその可能性」

原子力機構 高速実験炉部 高速炉照射課長

前田 茂貴

■ 「次世代再処理技術開発の現状」

原子力機構 燃料サイクル設計部 再処理技術開発・設計グループリーダー

竹内 正行

III 六ヶ所村が広げる原子力の可能性（16:35-17:20）

座長：佐藤 学 八戸工業大学 機械工学科 教授

■ 「東北大学における放射線高度利用研究紹介」

東北大学大学院 量子エネルギー工学専攻 准教授

人見 啓太郎

■ 「地元企業との共存共栄に関する取り組み状況」

日本原燃株式会社 地域・業務本部 地域交流部長

相澤 文雄

会場のご案内



お問合せ先



国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
六ヶ所・核燃料サイクルセミナー事務局（担当：海野、齋藤）

電話番号 080-4615-7273

Eメール cycleseminar@jaea.go.jp

平成 30 年 7 月 25 日 (水) 開催
六ヶ所・核燃料サイクルセミナー

お申込み方法

参加ご希望の方は、[参加申込書 \(Word 約 43KB\) \[クリックしてダウンロード\]](#) に所属・氏名・連絡先等をご記入の上、

平成 30 年 7 月 18 日 (水) までに E メール または FAX でお申込みください。

- 当日は送迎バスをご用意いたします (10 時三沢駅発)。ご利用を希望される方は参加申込書にご記入ください。
- 当日はお弁当をご用意いたします (1,000 円)。ご希望される方は参加申込書にご記入ください。

※いただいた個人情報につきましては、当セミナーを実施する目的以外に使用いたしません。

お申込み・お問合せ先

お申込みは「六ヶ所・核燃料サイクルセミナー」事務局宛にお願いいたします。

E メール : cycleseminar@jaea.go.jp

F A X : 0 2 9 - 2 8 2 - 9 9 4 6

ご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

電話番号 : 0 8 0 - 4 6 1 5 - 7 2 7 3

担 当 : 海野 (うみの)、齋藤 (さいとう)

受付時間 : 9 : 00 ~ 17 : 30 (土曜日、日曜日、祝祭日をのぞく)